

「現在の株価の位置を知る検索」

JP法研究会 富士栄

絞り込み検索には、各種様々な検索が登録されています。

今回はその中で、現在の株価の位置を知る検索を紹介します。

■ 1 2. 株価位置

この検索では、ある期間を決め、その中で今の株価がどのくらいの水準に位置しているのかをスクリーニングできます。

スクリーニングの方法もザラ場（高値・安値）を含める方法と、終値のみですする方法の2つが用意されています。

下記の入力例は、ザラ場は無視し、終値で過去40日間の値幅中、90%以上の位置にある銘柄をスクリーニングしてきます。

※注意点

位置ということ。つまり100-100とセットすると今が一番高い銘柄を掴んでくれますが、90-100とすると、最高値からやや下がっている銘柄も捉えるということです。

12. 株価位置

検索条件 検索種別・日付

実行 中止 登録 閉じる データ補正について

検索条件

☐ 過去の日から検索日までの高値を100%・安値を0%とした時の現在の%を入力する

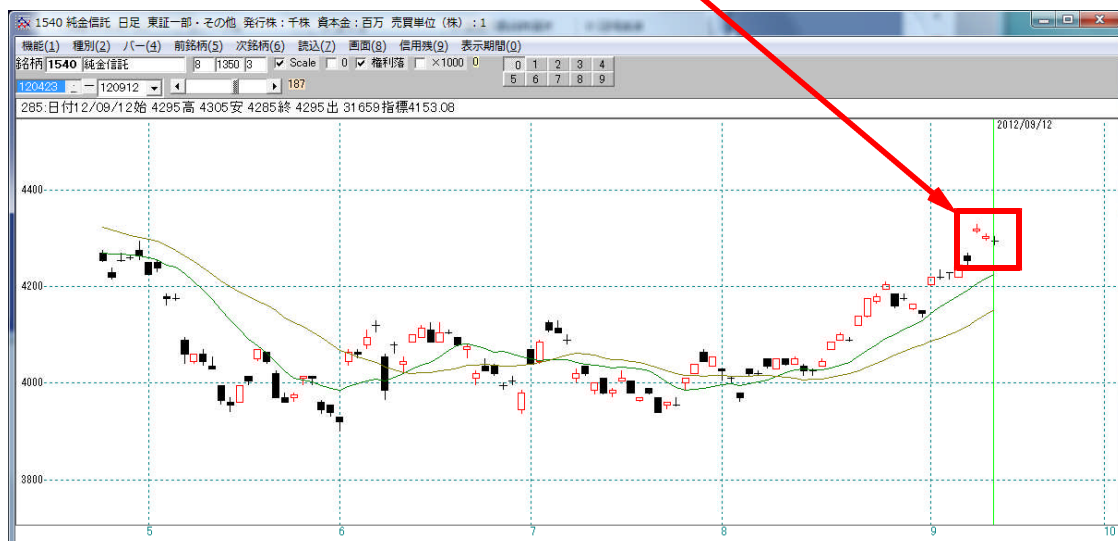
☒ 過去の日から検索日までの終値の高値を100%・終値の安値を0%とした時の現在の%を入力する

何%以上 90

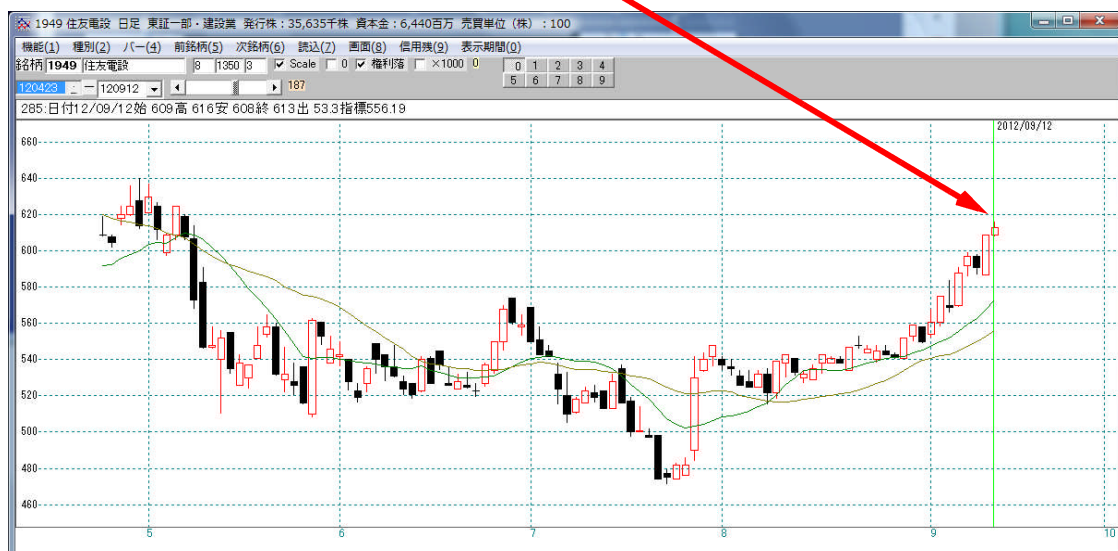
何%以下 100

さかのぼる日数(最大300) 40

90-100の場合、このように最高値からやや下がっている銘柄も拾ってきます。



もちろん最高値を更新している銘柄も拾ってきます。



※注意点

今回の検索は、終値同士ですから、ここでのいう最高値とは、終値中での最高値であってザラ場の最高値ではありません。

0-0と入力すると、最安値にある銘柄を引っ張ってきます。

0-5だと、最安値からやや上昇に転じた銘柄についてスクリーニングできます。

■ 1 3. 株価日柄

一定の期間を決め、その範囲のザラ場である高値または安値から今が何日経過しているのかをスクリーニングします。

下記の例だと

60日間の最安値から、今が55日以上経過している銘柄をスクリーニングしてきます。

以上の項目しかありませんので、高値または安値をつけてから、日が浅いというスクリーニングは出来ません。これをするにはJPシートで設定してください。

13. 株価日柄

検索条件

実行 中止 登録 閉じる

過去の日から検索日までの(高値・安値をつけてから)経過日数(以上) 55 日(週・月)以上経過

さかのぼる日数(最大300) 60 ※ 検索日は高値・安値の計算には含まれません。

検索種別・日付

高値採用 安値採用

さかのぼれる最大日数は、JP法株価分析システムで300期間ですが、シフト作業が入りますから、実際は299期間です。

JP2000ソフトであれば1999期間となります。

期間とは、日足・週足・月足それぞれの期間です。

JP法株価分析システムであれば、300日、300週、300ヶ月が保有できる最大日数です。

JP2000であれば、2000日、2000週、500ヶ月です。

この検索のみだと、ただ単に経過日数に合致した銘柄を引っ張ってきますので、下記のように様々なものが合格してきます。

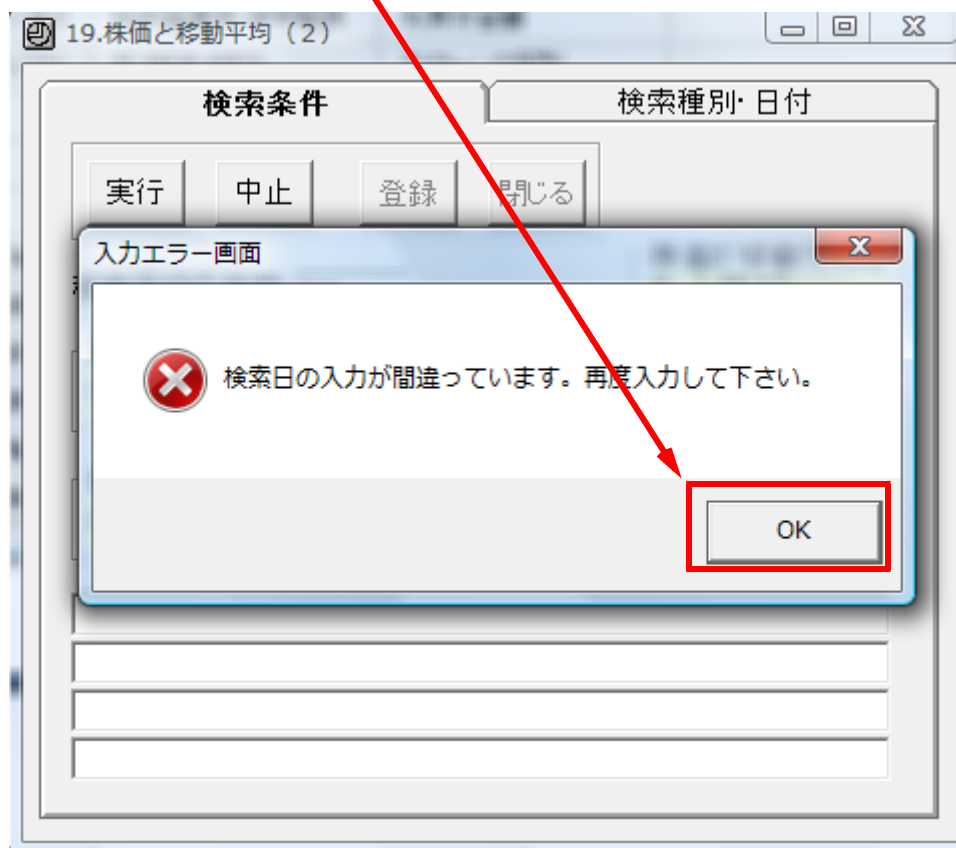
よって、さらなるスクリーニングが必要でしょう。



■絞り込み検索でよくあるエラーについて

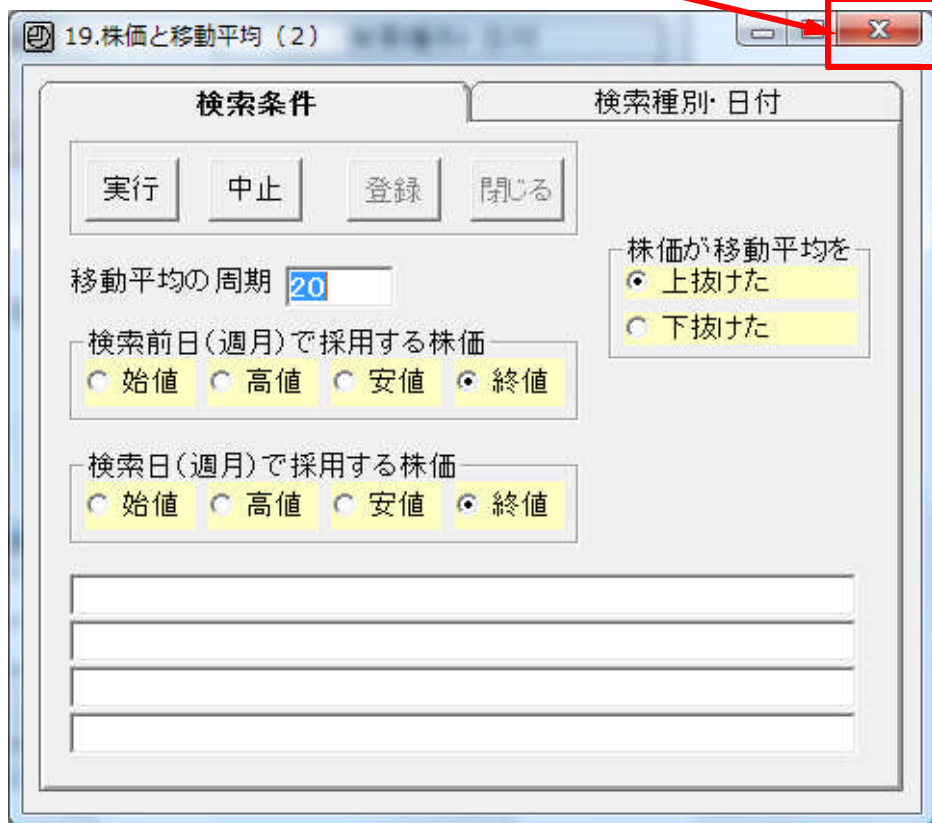
絞り込み検索のある検索をしようと思いクリックすると、下記のようなエラーメッセージが表示される事があります。

この対処方法は、まず「OK」をクリックします。

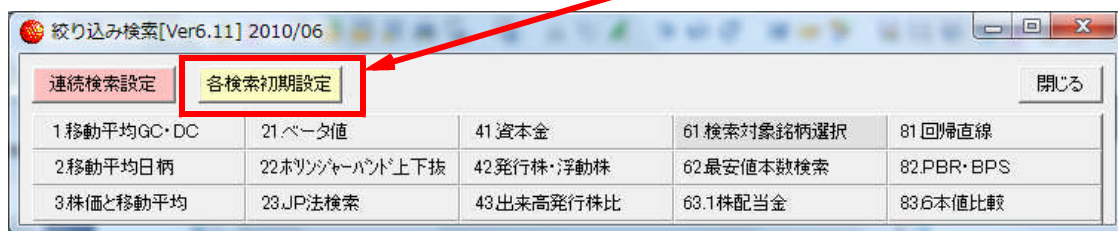


※このエラーは、毎日のように使っている検索では出現しませんが、ごくたまにしか使わない検索において発生します。

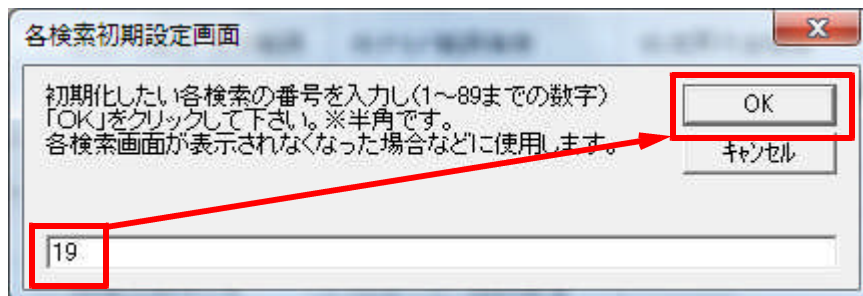
続けて、左上カドの「×」をクリックしこの画面を閉じます。



絞り込み検索の一番上にある黄色いボタン「各検索初期設定」をクリックします。



エラーとなった検索の番号を入力し、「OK」をクリックします。
※今回は、19．株価と移動平均（2）なので「19」です。」



これで、エラーは解消されました。